

青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」派遣教員レポート（平成24年11月分）

氏名：田村陽子（広島県立広島北特別支援学校）

現地勤務先：キト市役所教育課

○平成24年8月～平成24年10月の出来事

平成24年11月 第6号

Gracias!（スペイン語でありがとう!）

みなさん、お元気ですか？私は、エクアドルの生活にはすっかり慣れて、元気に過ごしています。素敵なエクアドルの仲間との生活も、残り4ヶ月となり、寂しく思うこともできました。例えば、季節限定の食べ物だと、来年はもう食べることができないなあと思ったり、ホームステイ先の家族が「このままエクアドルに残れないの？」と何度も尋ねてきたり。残り4ヶ月、自分にできることはなんでもやって、帰国したいと思っています。

今回は、8月から10月の活動を報告します。

<中間発表会>

これまでの仕事の様子、残りの任期での活動計画等を発表する中間発表会が8月にエクアドルでありました。12人のボランティアが、それぞれの任地での様子を報告し合いました。私が発表した内容を、少し紹介したいと思います。

主な仕事内容

1. **研修会の実施**：同僚と協力しながら、先生や教育心理士を対象とした研修会を開いてきました。
2. **個別活動**：子どもたちが苦手だなあと思っている活動が、少しでも上手に出来るように一緒に取り組んでいます。
3. **ガイド**：色々な活動を紹介するパンフレットを作っています。



個別活動の様子です。みんな一生懸命勉強します。彼らの姿から学ぶものは、本当に多いです。

残りの任期で取り組みたいこと

1. 引き続き研修会を開く。
2. ガイドを完成させる。

9月から行う研修会の内容の一部を、実際に会場の先生にモデルになってもらい行いました。体験型の研修会が少ないエクアドルで、どこまで伝わるかと不安でしたが、無事に終えることができました。



<体験型の研修会への挑戦>

9月から主要校を一週間ずつ順番に回って、研修会を開いています。4月から7月に、一度行っているので、学校へ行くと子どもたちや先生が「YOKO」と私の名前を呼んで、たくさん話しかけてくれています。なかなかスペイン語は上達しませんが、でも前よりは会話が聞き取れるようになり、少しずつ会話を楽しむことができるようになってきました。



1・2年生の先生と一緒に、数字カードを作り、その後カードを使ったゲームをしました。「クラスの児童全員が参加できる活動を授業中に取り入れてほしい」とのメッセージを先生たちに送り続けています。



手先を使う活動の一つとして、フィンガーペインティング（指に絵の具をつけて絵に色をつける活動）を紹介しました。色々な色のりんごが出来上がりました！



グループごとに、子どもたちが抱えている困難さの原因や背景を考え、どのように教室でかかわるかを話し合いました。その後、各グループごとに発表しました。



手先を使う色々な活動を、学校で働く教育心理士と一緒に行いました。みんな担当する子どものことを考えながら、真剣に取り組んでいました。



体を動かすゲームも紹介しています。研修会の次の日に、すぐにクラスで実践してくれた先生がいて、とても嬉しかったです。

次回は、2月の予定です。楽しみにしててくださいね。Hasta luego!（それでは、また!）